

日本音楽教育メディア学会  
(JAPANESE MEDIA SOCIETY FOR MUSICAL EDUCATION)  
**JMSME News Letter**

2018.1 vol.06 <新春号>

発行：平成30年1月15日  
日本音楽教育メディア学会事務局  
〒243-0213 厚木市飯山 2855-6 田村方  
tamura@tanzawa.or.jp  
(HP) <http://jmsme.jp/>  
運営委員：komadamayumi@gmail.com

## ご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年もよろしく願いいたします。

本会は今年設立5年目を迎えます。前身である「日本コンピュータ音楽教育学会」設立から通算25年目にあたり、それ故本年は節目の年であるともいえるでしょう。

ところで昨年は熊本地震がありました。前の東日本大震災の爪痕は今だ生々しく、福島原発をはじめ復興は遅々としています。沖縄の基地問題や、国際的には北朝鮮問題、中東問題、ロヒンギヤの人権問題、多発するテロ等、世界は混沌としています。そのような中であって、やはり教育(音楽)の果たす役割は大なるものであると確信します。私たちは明日の子どもたち、明日の教育者の育みを目指していきたくと考えています。

簡単ではございますが、皆様のご健康、本会のさらなる充実と発展、世界の平和を祈念致しまして、ご挨拶と致します。

会長 谷中優

## COLUMN

### ベトナムの音楽事情について

井上大貴

ベトナム・ホーチミンの音楽事情について、私の知っていることを書かせていただきます。現在、ベトナムの義務教育(5・4制)では、音楽は芸術科目の中の選択科目の1つとして位置づけられており、全員が必ず受ける科目ではありません。若者には、K-POP(ファッション等は韓国風の方が人気)の影響を受けたような楽曲に人気が集まっていますが、幅広い年代に、演歌調の曲も人気があります。

クラシック音楽に、あまり馴染みはないようで、聞いたことがない、オーケストラを見たことがないというベトナム人も多いようです。ホーチミン市に、観光地としても人気のある外観の立派なオペラハウス(ホーチミン市民劇場)もありますが、ホールは日本でいうところの小ホール程度の規模です。

そんなホーチミンにも、グエン・ティエン・トゥアット通りという楽器屋が集まるエリアがあります。どの楽器店も品揃えはあまり変わりません。アコースティックギター・マンドリン・バイオリン・カホンなど、木を加工して作製する楽器ばかりです。価格は安く、カホンは一番安いもので70万ベトナムドン(日本円で3500円程度)で購入できます。(ケース付き)

ベトナムに寄る機会がありましたら、ぜひ覗いてみて下さい。

(日本国総領事館附属商工会立ホーチミン日本人学校)

## 特別寄稿

目に見える姿から、

その子の内面「心もち」をとらえたい

寺田美子

幼稚園6月の朝。登園後、身支度を終えた子どもたちが、それぞれ、好きな遊びを始めている。園庭ではドロケイ・鬼ごっこ・カメの世話。保育室では、あき箱制作やペットボトルのボーリング友だちと一緒に遊ぶ子どもの姿が見られる。

そのような中、園長（私）が覗いた部屋では、5歳児のK男が、ひとり部屋の中央近くに立ち、壁の上の方を見ている。しばらくしても、ほとんど変わらぬ様子に「ねえ、〇先生、Kちゃんは、遊びたい事が見つからないのかな」と声をかけた。

担任教師は、園長の言葉の裏にある本当に言いたいことを察したようである。「園長先生、Kちゃんは、この数日、何枚も恐竜の絵を描き直してさっき、やっと完成しました。今は、達成感と充実感でいっぱいです。気がすむまで、自分の絵に見とれさせてあげたいと思います」

その子が持っているストーリーや、目に見えない「心もち」「育ちつつあるもの」も理解してくれる担任の先生とは、ありがたい存在である。

目に見える姿から、その子の内面「心もち」を感じる教師でありたいものである。

自ら育つものを育てようとする心…、倉橋惣三の「育てのこころ」を、いま読みたい。

（松本学園新松戸幼稚園長 聖徳大学兼任講師）

## 連載「こどものうた」

「子守歌」

飯泉祐美子

「子守歌」とは子どもを寝かせたり、あやしたりするための歌であることは周知のことである。よく知られた日本の「子守歌」というと

江戸子守唄

竹田の子守唄

五木の子守唄

中国地方の子守唄

島原の子守唄

これらが代表的なものといえるのではないだろうか。

さて、現代に生きる私たちは、これらの「子守歌」を子どもに対して歌った当事者は当然母親と思いがちである。しかし、日本の「子守歌」の多くはそうではない。母親が歌うのではなく、幼くして故郷を離れた子守り娘達が、子どもたちに対して歌ったのである。子守り娘達は自分の辛さを歌として子どもに対して歌った。そのため歌詞も曲調も重くどこかもの悲しさを感じるものとなった。

現代に生きる私たちはどのくらい彼女たちの辛さや悲しさを理解できるだろうか・・・？

次回に続く

（帝京科学大学教育人間科学部）

## ♪ 学会トピックス ♪

- 来たる2月18日（日）第7回研究会を開催致します。（詳細は研究会お知らせ欄を参照）
- 学会誌「音楽教育メディア研究」第4巻が発行されます。（今回は2月に発行）
- 会報の発行は年2回（1、7月）になります。
- 本学会の総会は8月（8月が年度始め）、研究会は2、8月に開催いたします。
- 論文および口頭発表原稿フォーマットが改訂されました。
- 論文執筆要項が改訂されました。

## 《会員メッセージ》

### 「取扱説明書」がない？

立教女学院短期大学・田中功一

数年前はパソコンのソフトウェアを購入するとぶ厚い「取扱説明書」が入っていましたが、最近はずいぶん薄くなりました。そう言えば、先日買い換えた中古のスマホには取扱説明書もないのですが、全く困らずに使っています。そのスマホには「エモパー」という人工知能の機能があり、私の操作に対して話しかけてくるのです。このところ少し慣れてきたので、スマホから話しかけられると返事ができるようになりました。今から7年前の2010年に始めた「モバイルラーニングによる実技教育の振り返り学習」というプログラムを学生に課していた頃、学生が携帯電話を操作して自分の演奏録音を提出する方法を説明するため、何頁にも及ぶマニュアルを作り、説明会を設定し、マニュアルを配布して説明をするのですが、紙の上での説明なので理解いただくのにたいへんな労力を費やしました。それに比べると、最近の学生さんはほぼ全員が高性能なスマホを使いこなし、情報を自分でとってきます。こちらはその機能を活用させていただいています。例えば、Google Form を使って授業終了の5分前に小テストをスマホで行い、回答結果をリアルタイムでスクリーンに示すことにより、学生と教員、あるいは学生間で瞬時に共有することが可能になりました。授業中にスマホを使うことは「厳禁」というのが普通ですが、使い方によっては強力なツールになります。まさに「取扱説明書」という教示型ではない双方向型のツールです。

## 《会員メッセージ》

有明教育芸術短期大学・松田扶美子

現在、私が勤めている有明教育芸術短期大学は3年後、東京オリンピック・パラリンピックの会場の中心となる江東区有明に位置します。急ピッチでいろいろな建物が建ち、大学の前には運河が広がっています。

日本初の私立音楽学校である「音楽遊戯協会」をルーツとし、名称を変え、日本音楽学校から短期大学となり124年の歴史があります。

短大では幼稚園教諭・保育士・小学校教諭の3つの資格が取得できます。「教育と芸術の融合」を理念に掲げ、特に音楽に力を入れており大学内には400名収容の音楽ホールがあり、私は一人一人の声を聴き、歌の指導をさせていただいています。

一人一人奏でる音楽は同じものではなく、声は神様が人に与えてくださった最高の贈り物だと感じます。

歌を突き詰めていくと、身体の使い方、筋肉の使い方、呼吸法、表情、歌詞の理解、食べ物、生き方などあらゆるものがふくまれ、奥深いと感じます。

この世に一つしかない楽器を奏でるとき、人は自己を表現し、解放できるのではないかと思います。

今まで2000人以上の方々の歌声を聴き、指導させていただく機会に恵まれています。これまで演奏、指導に携わってきましたが、今後は学会で声楽・音楽教育について少しずつまとめて発表させていただきたいと思っています。

## 第7回研究会のお知らせ

2018年2月18日(日) 13:00~16:30 葛飾シンフォニーヒルズ別館4F パンジー

### 研究発表(発表順未定)

「保育者養成校における音楽的自立についての一考察」(千葉敬愛短期大学 鈴木由美子、林麻由美)

「演奏見える化ツールを用いて指導したピアノ学習者の追跡調査」(立教女学院短期大学 田中功一、  
文教大学 小倉隆一郎、(株)ピコラボ 鈴木泰山、放送大学 辻靖彦)

「手作り楽器による実践と考察」(日本作曲家協議会 谷中優)

「保育内容表現の授業実践と考察2」(帝京科学大学 飯泉祐美子)

懇親会 17:00~19:00 会費 3000円(場所は会場近くを予定)

## 会費納入のお願い

本年度(H29年8月1日~H30年7月31日)の年会費7,000円の納入を下記のいずれかの振込先にお問い合わせいたします。

《振込先①》

ゆうちょ銀行 10510-91267401

ニホンオンガクキョウイクメディアガクカイ

《振込先②》

みずほ銀行 亀有支店(店番178)

(普)1293675 日本音楽教育メディア学会会長 谷中優

※入会に際しまして、又、会費についてご質問等ございましたら事務局までご相談ください。

## 事務局だより

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ニューズレター vol.6 をお届けいたします。

今年も本学会を通じて様々な良い出会いがあります事を期待しております。

研究会はこの度7回目を迎えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。非会員の当日のご参加(会費500円)も大歓迎でございます。また8月には、夏期研修会の実現を目指しております。詳細が決定しましたらお知らせいたします。学会誌「音楽教育メディア研究」は第4巻を発行致します。執筆されていらっしゃる先生方、1月末日が締め切りとなっておりますのでよろしくお願い致します。

事務局は今年度も飯泉祐美子、鎌田千佳、林麻由美の3名で運営しております。先生方の良き研鑽の場になりますよう務めてまいります。